

視点1 違法・有害情報の流通状況とサービスがもたらすリスクの理解・リスクに対する適切な対応

プラットフォーム事業者自らが、サービス上で流通する違法有害情報の状況とサービスがもたらすリスクについて理解を深め、リスクに適切に対応することが重要。

<上記を踏まえた検討項目>

リスク評価・軽減措置、収益化停止、レコメンダシステム

視点2 適切な情報表示の在り方

プラットフォームのサービス上、利用者が今閲覧している情報がなぜ表示されているのかなど、情報の表示について、プラットフォーム事業者においては、さらに透明性を高め、利用者に表示される情報の選択を含めた、自己決定権を付与する対応が重要。

<上記を踏まえた検討項目>

レコメンダシステム、プロミネンス、ラベル付与

視点3 適切な利用者の確認の在り方

違法・有害情報を抑止するため、また、犯罪捜査の観点からの発信者のトレーサビリティを確保するための方策として、アカウント開設時の本人確認等の在り方について、匿名の表現の自由との関係も踏まえつつ、本論点を整理することが重要。

<上記を踏まえた検討項目>

アカウント開設時の本人確認